

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年3月調査結果-

調査要領

- 調査期間 2017年3月7日～30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 100社
- 回収率 50.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の3月の状況を見ると業況DIは、前月より6.4ポイント悪化の▲17.0。

2014年4月以来36ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、建設業、卸売業、小売業、サービス業の4業種において悪化した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲13.0と当月に比べ4.0ポイント回復を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、製造業で回復が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2016年 10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	先行き見通し 2017年4月～6月
業況	▲17.3	▲12.9	▲11.8	▲17.4	▲10.6	▲17.0	▲13.0
売上	▲13.4	▲6.0	▲15.7	▲14.3	▲13.5	▲9.0	▲1.0
採算	▲14.4	▲11.8	▲9.8	▲8.2	▲10.6	▲19.0	▲13.0
仕入単価	▲20.2	▲21.8	▲25.5	▲29.6	▲26.9	▲32.0	▲36.0
従業員	35.6	24.7	25.5	30.6	24.1	24.0	30.0
資金繰り	▲5.8	▲7.0	▲6.8	▲7.2	▲7.7	▲10.0	▲11.0

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2016年 10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	先行き見通し 2017年4月～6月
建設	▲16.0	▲13.6	0.0	▲9.1	▲4.0	▲8.7	8.7
製造	▲8.0	▲7.4	0.0	0.0	4.1	7.7	11.7
卸売	▲20.0	▲16.7	▲36.8	▲15.0	▲33.3	▲35.0	▲35.0
小売	▲53.3	▲25.0	▲43.7	▲50.0	▲17.6	▲35.7	▲35.7
サービス	0.0	▲5.5	11.7	▲25.0	▲5.9	▲29.4	▲35.3

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・資材の上昇が見られる（建築） ・新たな分野で北海道には導入されていない機械・装置の導入を検討（設備その他） ・仕入資材及び機器等の値上げの話がポチポチ入ってきている。新年度からの仕入価格上昇がどの程度なのか現時点では推測でしかない。特に下請工事での金額アップは難しいと思われる。（建築） ・現場代理人の確保に苦慮している。（設備その他） ・工事契約が順調である。人員不足が恒常化していたが4名を新たに雇用し解消。給与引上げを検討（建築） ・自社技術職員が不足。募集はしているが希望者がいない。仕入材・外注費等は上昇傾向（設備その他）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・受注は徐々に回復傾向にあり第2四半期へ向けて準備も始まっている。ただ見通しの厳しい年度となると思われる。（家具木材） ・購入資材の値上がりが続いている。昨年夏季に予定していたが台風災害のため中止されていた物品製造の受注が開始されたが、昨年の資材単価の上昇分採算は悪化（金属鉄紅業業他） ・資材の大幅な値上げを通告されている（春～夏にかけて）ので価格の見直しを検討（金属鉄工窯業他） ・為替ルートが安定せず、また先行き予想が難しい。（家具木材）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・売上・粗利とも前年比100%。今後も変化する材料が見当たらずそのまま推移しそう（機械鋼材） ・前年度より若干良い業況と思われる。（機械鋼材） ・従業員1名不足。資金繰りの悪化。売上は悪くないが仕入が増えている。（その他） ・個人消費の減少から法人消費も控える傾向となりつつある。北海道新幹線の影響は道南だけで道東・道北・道央は減少傾向で先行き見通しは不安を感じる。（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ仕入価格が上昇してきている。人材不足により春商戦の体制作りが遅れている。（その他） ・マージン不足（その他） ・来店客数が前年に比べ非常に少ない。大学入学および卒業・社会人第一歩のシーズンですが毎年スーツを購入されるお客様が少なくなり高額商品の売上が見込めず売上が大変厳しい。（衣服身の回り） ・機械設備の老朽化（食料品）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のイベント時期で外国人のお客様が予想以上であったことで活気が出ていた。（運送） ・昨年と比べホテル数が増えたことで需要が分散、単価下落、稼働微増で売上は横ばい。稼働率を上げた事でコスト上昇、減益予測（ホテル） ・道北・道東方面は国内・外の観光客減でマイナス。道南を中心に札幌・ニセコ方面は忙しくトータルプラスマイナスゼロ。今後の観光客増が仕事を左右するので観光客増に期待（クリーニング） ・修理車両在庫減少、板金塗装在庫及び車両販売なし。修理しても入院が2ヵ月後と厳しい（整備） ・新卒者の募集にあたり労働条件（休日・勤務時間）及び職場環境の改善が求められる。（その他） ・飲食業は小さいパイの奪い合い。知恵を絞って地道にやっていくしか生き残ることは出来ない。（飲食） ・4月から食品等の値上げがある様なので利益減が予想される。（飲食）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI11.7 ポイント悪化、採算 DI13.4 ポイント悪化、仕入単価 DI15.5 ポイント悪化、資金 DI8.4 ポイント悪化、従業員 DI1.8 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 4.7 ポイント悪化となった。業種別では、設備その他 11 ポイント回復、建築横ばい、総合工事 21 ポイント悪化となった。現場代理人の確保に苦慮しているとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI15.4 ポイント回復、採算 DI4.1 ポイント悪化、仕入単価 DI2.3 ポイント悪化、資金 DI3.9 ポイント回復、従業員 DI1.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 3.6 ポイント回復となった。業種別では、食料品、印刷出版、金属窯業等で横ばい、家具木材 17 ポイント回復となった。購入資材の値上がりが続いている。資材の大幅値上げを通告されている(春～夏にかけて)ので価格の見直しを検討しているという声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI9.1 ポイント回復、採算 DI16.5 ポイント悪化、仕入単価 DI11.2 ポイント悪化、資金 DI8.6 ポイント回復、従業員 DI0.7 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 1.7 ポイント悪化となった。業種別では、繊維・衣服等 50 ポイント回復、食料品横ばい、機械鋼材 8 ポイント、その他 2 ポイント悪化となった。個人消費の減少から法人消費も控える傾向になりつつある。北海道新幹線の影響は道南だけで道東・道北・道央も減少傾向で先行きも通しは不安を感じるとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI2.1 ポイント回復、採算 DI5.1 ポイント悪化、仕入単価 DI2.0 ポイント回復、資金 DI2.1 ポイント回復、従業員 DI12.6 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 18.1 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品 17 ポイント、食料品 25 ポイント、その他 13 ポイント、自動車 25 ポイント悪化となった。来店客数が前年に比べ非常に少ない。大学入学および卒業・社会人第一歩のシーズンですが毎年スーツを購入されるお客様が少なくなり高額商品の売上が見込めず売上が大変厳しいとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI111.8 ポイント悪化、採算 DI117.7 ポイント悪化、仕入単価 DI5.9 ポイント悪化、資金 DI23.5 ポイント悪化、従業員 DI11.7 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 23.5 ポイント悪化となった。</p> <p>業種別では、整備業 25 ポイント回復、ホテル横ばい、理美容クリーニング 200 ポイント、その他 25 ポイント、飲食 50 ポイント、運送 17 ポイント悪化となった。飲食業は小さいパイの奪い合い。知恵を絞って地道にやっていくしか生き残ることは出来ないという声も寄せられている。</p>